

神社本庁設立70周年記念大会



神社本庁設立70周年記念大会

敬神生活の綱領

神道は天地悠久の大道であつて、崇高なる精神を培ひ、太平を開くの基である。

神慮を畏み祖訓をつぎ、いよいよ道の精華を發揮し、人類の福祉を増進するは、使命を達成する所以である。

ここにこの綱領をかかげて向うところを明らかにし、実践につとめて以て大道を宣揚することを期する。

一、神の恵みと祖先の恩
とに感謝し、明き清
きまことを以て祭祀
にいそしむこと

一、世のため人のために
奉仕し、神のみこと
もちとして世をつく
り固め成すこと

一、大御心をいただきて
むつび和らぎ、国の
隆昌と世界の共存共
栄とを祈ること

神社本庁五月定例評議員会報告

本庁評議員 古 屋 真 弘

神社本庁の平成二十八年五月定例評議員会が、去る五月二十六日から三日間の日程で、神社本庁で開催された。山梨県からは、神社本庁評議員の根津泰昇庁長、中込豊秋県総代会長、古屋真弘本庁評議員の三名が出席した。

第一日目には、北白川道久統理の熊本地震に対してお見舞い、設立七十周年大会、伊勢志摩サミットにおいて各国首脳が神宮に訪問された事などを交え、挨拶をされた。次に神宮大宮司（代理齋藤郁雄禰宜）、神道政治連盟長曾我部会長が祝辞を述べられた。

日程に従い、まず議長、副議長選挙が上程され、選考委員会で審議の後、議長に中山高嶺埼玉県神社庁長、副議長に泉和慶兵庫県神社庁長、富木昭光石川県石浦神社役員が選任された。次に田中恆清総長が挨拶をされ、不活動宗教法人対策を重点

的に行う件、自主憲法制定に向けた取組みの中で、参議院選挙に向けてより世論を喚起していく件を述べられた。

次に提出議案を審議する議案審査特別委員会、予算審議のための子算審議特別委員会をそれぞれ設け、審議を進めることが決定された。続いて、庁規の一部を変更するの件が上程され、中でも事務当局から、直階宮司代務者が五年以内に上位階位を取得しなければ失職となる規定案が示され、会場からは直階宮司代務者の地方神社護持に対する重要性を指摘する意見も出されたが、事務当局から「一度現状を解消し、抜本的な改革を図りたい。特例制度を設け、上級階位に進める道も設けるので、直階保持者の不利益にならない」旨の説明がなされた。次に横浜の伊勢山皇大神宮をはじめ四社の別表神社加列が可決された。第二日目には、議案審査特別

委員会の委員長、丹治正博福島県神社庁長から提案四件のうち、三件を本会議に上程、一件を本庁当局に送付することに決定したとの報告がなされ、三件の議案提案者による提案理由説明がなされた。本県古屋真弘本庁評議員が「都七県神社庁連合会からの提出議案「家庭祭祀の意義啓発と国旗・国歌を尊重する心を涵養すべく、来る平成三十二年の東京オリンピック・パラリンピック開催を意識高揚の好機と捉え、継続的な国旗掲揚運動を推進するやう、神社本庁に要望するの件」を提出し、他の二議案とともに、可決された。続いて、予算審議特別委員会で委員長に選出された、本県根津泰昇神社庁長から、審議経過が報告され、原案通り可決された。第三日目にはまず統理選挙が上程され、北白川道久統理の再任を決定した。続いて理事、監事選挙が上程され、神宮一名、各地区二名の選考委員が選出され、以下の通りの、役員が決定された。総長に田中恆清氏、副総長に小串和夫氏、常務理事に吉田茂穂氏・吉川通泰氏、理事

に本県神社庁長根津泰昇氏をはじめ、亀田幸弘氏（神宮）、小野貴嗣氏（東京都）、吉田源彦氏（北海道）、面山浩康氏（秋田県）、櫻井豊彦氏（静岡県）、加藤治樹氏（石川県）、森正光氏（奈良県）、川村公彦氏（高知県）、池田剛康氏（長崎県）、西高辻信良氏（福岡県）、國分正明氏（全国神社総代会副会長）、荒巻禎一氏（全国神社総代会副会長）、監事に渋谷宣廣氏（山形県）、岡村吉明氏（鳥取県）、十河清氏（高知県）に決定した。

選考の間に、熊本県宮崎國忠神社庁長が今般の熊本地震の被災神社庁を代表して、全国からの支援に対してのお礼と、現状の報告が、服部憲明評議員（愛知県）から「憲法改正と参議院議員選挙について」と題した意見が述べられた。

今回の評議員では、根津庁長が予算審議特別委員会委員長に、古屋本庁評議員が議案提案者として壇上上がり、山梨県の勢いが感じられる会であった。

青葉会議を省りみて

山梨県神社総代会 会長 中 込 豊 秋

新緑の香り漂うなか、二十四日神社本庁に於いて、定例の全国神社総代会代議員会が催され、三村明夫会長留任、他議案総て可決されました。

二十五日明治神宮会館にて神社本庁設立七十周年記念大会が開催され、式典には秋篠宮、同妃殿下が台臨され、池田厚子総裁、北白川道久統理はじめ、来賓、神社関係者、千八百余名出席し盛会に催された。秋篠宮殿下には、神宮、神社の行事を通じて、地域に活力をもたらし、社会の平安に寄与されることを心より願っております。とお言葉

を述べられた。席上県下神職、総代役員四十余名が、表彰の栄に浴された。二十六日伊勢志摩サミット会議前、各国首脳、配偶者らと共に、安倍首相の出迎えを受け、伊勢神宮を表敬参拝され、なお記念植樹をされた。(世界中の人々が平和で共生できるようにオバマ)(日本の原点である、調和、尊重、平和を。仏大統領)(豊かな自然との結びつきに敬意を表し、生存と保全を願う。独首相)(歴史に満ち、示唆に富む場所はすばらしい。社会正義のため、力強く進むこと祈念する。伊首相)参拝された各首脳が、日本の

神髓に接しられたことは、意義深いものと思います。

二十六日会議、事業計画、予算、諸規変更、不活動神社対策費は、増額となりました。

二十七日本会議、上程四議案の一つに。家庭祭祀意義啓発と国旗、国歌を尊重する心を涵養すべく、来る平成三十二年の東京オリンピック。パラリンピック開催を意識高揚の好機と捉え、継続的な国旗掲揚運動を推進するよう、神社本庁に要望するの件(提案者、古屋真弘評議員)堂々と提案理由の説明を加え可決された。誠に感激の極みでありました。更に掲揚運動を進め、実を揚げて参ろうでは、ありませんか。

最終日二十八日。神社本庁役員改選において、根津泰昇庁長は関東七県代表の理事に選任され、ご就任されました。まことに喜ばしいことで、今後のご活躍をご期待申し上げます。

本年は山梨県神社庁設立七十年になります。記念事業として、左記の通り決定されました。一、記念イベント「神社を知ろう」八月六日(土) 七日(日) 会場 甲府駅北口

よっちゃばれ広場で。一、記念大会(神社関係者大会)十月二十六日(水) 文化ホール

一、不活動神社対策事業
二十八年度より継続事業
※人口減少に依る宗教法人総てに諸問題が発生しており、山梨県過疎地域には、お社の運営なしない数が増えており、神職、総代共に、その対策に行動すべ

神社本庁規程表彰を受けて

武田神社 権禰宜 土 橋 俊 彦

去る五月二十五日、明治神宮会館で開催された神社本庁設立七十年記念大会に神社本庁規定表彰並びに指定団体(神社スカウト協議会)関係功労者表彰の受賞に付、出席をした。

顧みれば、國學院大學神道科を卒業し、東京都杉並区に鎮座する大宮八幡宮に出仕として奉職したのが昭和五十七年三月の事であった。爾来、早くも三十五年の歳月を閲したのが夢の様である。同宮では、付属する幼稚園や結婚式場を含め、神社の仕事も雑用が多々有り、白衣姿より作業着での奉仕が多く右も左も分からぬうちに二年が過ぎていった。その間に結婚をし、新婚旅行に行った時に参拝した長崎の諏訪神社の社頭で、何か神主としての靈感を感じた。そうなるとうとう東京に帰っても捻りの多い奉仕生活が実感できず、何とか諏訪神社に転任出来ぬもの

きです。それには資金が必要です。過日各支部総代会、正副会長にお集まり戴き浄財を募ることに賛同して戴きました。神社あつての総代です。各位にはご理解の上ご協力賜りますよう、伏してお願ひ申し上げます。

ここからが、神主としての本当の修行の始まりであり、厳しい切磋琢磨の中、日々が血となり肉となった。そして、自身の全てが長崎に来て自分は本当の自分生まれ変わったと覚えたのだった。いつてみれば我々の世代が「神主らしい」最後の神主だと思ふ。掃除から一日が始まり、神さんの事をよく学び、よく考えそして、よく思った。小石一つの中にも神おわすのだ。机上に神はおらぬ。いくらキーボードが達者であつても、神に心は尽くせぬと思ふ。

今回の受賞を己が矜持とするだけでは無く、これまで薫陶を賜った恩師、先輩諸氏、同胞に特別の感謝を以て捧げたい。

神社本庁設立七十周年記念大会

南都留支部 支部長 渡 邊 主 計

去る五月二十五日、神社本庁設立七十周年記念大会が明治神宮会館で、関係者千八百人が出席し開催された。翌日五月二十六日、主要国首脳会議、伊勢志摩サミットが予定されている為、都内も警備が厳重であった。

大会記念式典に先立ち午後一時より、第一部、明治以降物故神職総代慰霊祭が斉行され安川忠正東京都神社庁参与が斎主を務め、祭詞奏上に続き北白川統理、遺族代表の鷹司尚武神宮大宮司が玉串を奉って拝礼した。

午後二時からは第二部の記念式典がおこなわれ、池田厚子総裁が入場し、続いて秋篠宮、同妃両殿下が入場され中央のお席にお着きになられた。池田総裁の式辞は自然災害に触れ、このような時にこそ全国の神宮、神社のおまつりを通じて地域に活力が溢れ人々の心に平安がもたらされることを切に願って已みませんと述べられた。次いで功績表彰では、定例表彰二百五十八人、神社本庁設立七十周年記

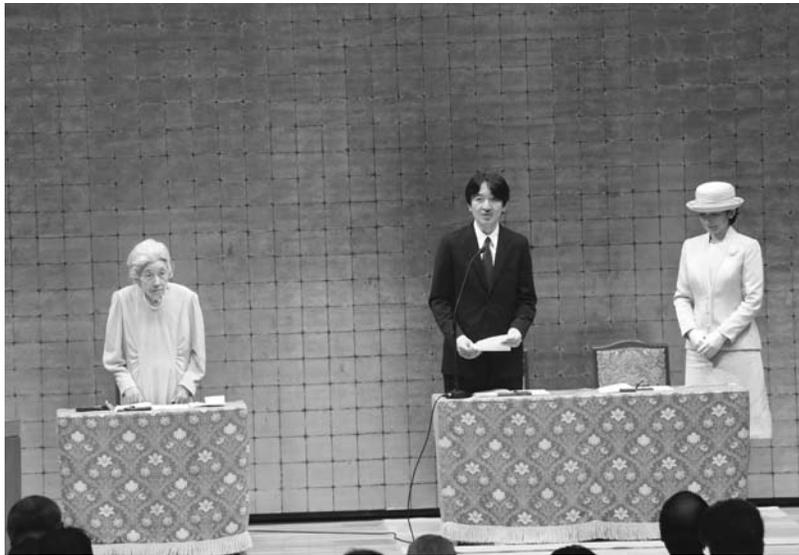
念表彰として二千五百三十三人が表彰され、北白川統理から高城前少宮司に鳩杖と功績状が手渡された。続いて、秋篠宮殿下からお言葉を賜り「神宮、神社

に継承されている行事を通じ地域に活力をもたらす社会の平安に寄与されることを心より願っております」と述べられた。こののち来賓を代表して、内閣総理大臣（代理・菅義偉内閣官房長官）、鷹司大宮司、三村全国神社総代会会長がそれぞれ祝辞を述べ寺井常務理事が大会宣言案を朗読。「祭り

の振興を通して地域の発展を図るとともに、我が国固有の伝統文化を護持継承してゆくための新たな一歩を踏み出さねばならない」旨が満場一致で採択された。最後に、綿貫民輔長老の先導により聖寿万歳を奉唱し閉会となった。新緑の神宮の杜の中で、神社本庁設立七十周年の節目の記念大会が厳粛に、盛大に執り納められた。

酒折宮 総代会長 菅 原 五 男
去る、五月二十五日の佳き日、神社本庁設立七十周年記念式典において、図らずも記念表彰受賞の榮に浴し心より感謝を申し上げます。誠にありがとうございます。当日は、崇高な杜の神氣籠る明治神宮御本殿前の神宮会館において神社本庁設立七十周年記念大会が厳かに開催され、第一部の明治以降物故神職総代慰霊祭に続き第二部の記念式典が執り行われ、その表彰式の席上身に余る表彰を受けましたが、この表彰は諸先輩各位のご高配によるものと厚くお礼を申し上げます。今後も敬神生活の綱領を誠実に実践し、地域と神社の絆を深め幸せな地域づくりを進めたいと思います。現在の社会情勢は、青少年の国歌、国旗に対する認識がうすれておりますので、四年後に開催するオリンピック東京大会に備え、国旗を掲げる運動をより一層積極的に進め、日本を愛する心の醸成を図って参りたいと思っております。この表彰を機に、より一層の神明奉仕に尽力して参りますので、今後共ご指導ご高配を賜りますようお願い申し上げます。

神社本庁設立七十周年
記念表彰を受けて



神道政治連盟中央委員会報告

神道政治連盟山梨県本部 本部長 渡邊 平一郎

去る六月十四日に、神道政治連盟中央委員会が午前十時より本社本庁大講堂で開催された。

開会儀礼の後長曾我部会長の挨拶があり、冒頭熊本地震による被災者、被災地へのお見舞い、亡くなられた方々への哀悼の意を捧げられ一日も早い余震の終息を願った。続けて我が国の歴史と伝統を踏まえた諸制度の整備の必要性、憲法改正の国民的議論の喚起が未だ不十分であることと指摘しこれらの諸施策は、現安倍政権でなければできない旨を述べ、七月の参議院選挙に臨んでの意気込みを語った。

続いて来賓として田中恆清総長の挨拶があり、五月の臨時役員会に於いて三期目に入る再任を受けたことを報告し、伊勢志摩サミットに先立ち、安倍総理他各国の首脳が、伝統に従って伊勢神宮を参拝されたことでの神政連の役割とこれからの発展を祈られた。

続いて高村正彦自由民主党副総裁、稲田朋美自民党総務会長、山谷えり子元国務大臣、有村治子元国務大臣がそれぞれ挨拶した。この中で高村副総裁は、今回の参議院選が「わが国の将来を

左右する重要な戦い」であり一人区で苦戦している現状とそこでの協力を語られた。稲田総務会長は、伊勢神宮の御遷宮が、安倍総理の時に行われ、伊勢志摩サミットでは各国首脳が伊勢神宮を参拝されたことの歴史的必然性を述べられた。山谷えり子参議院議員は、「神武天皇の建国の理念に基づいて国政に臨む」との決意を表し、国政報告をされた。有村治子議員は、「神道の精神を国政に」との思いで日々活動している旨の挨拶があった。

次に議事に先立ち平成二十七年の表彰式が行われたが、当本部では該当がなかった。議事では先ず新議長に神奈川の石川正人本部長が選任され、平成二十七年事業報告、二十六年度一般会計決算、特別会計収支計算書、二十八年活動方針、事業計画書案、一般会計予算案、役員改選、常任委員選出などを審議した。すべて原案どおり可決され、新会長に前幹事長の打田文博氏が選任された。私も関東ブロック代表として総務に再任され役員に名を連ねることになった。

関東一都七県関東地区神道連協議会「時局研修会」参加報告

神道政治連盟山梨県本部 幹事長 乙黒 洋

去る五月三十日午後二時より、東京都千代田区永田町にある自由民主党本部において、関東一都七県神道連の事業として、時局研修会が開催され、当山梨県本部長以下県内神職総代三十九名で参加した。

開会の辞を常盤神道連千葉県本部長が述べ、石川神道連神奈川県本部長先導の下、神宮を遥拝、国歌斉唱後、神道連綱領を森下神道連東京都本部青年隊長の先唱により唱和した。

主催者を代表し清水神道連東京都本部長が挨拶、来賓を代表し神道連会長長曾我部延昭氏並びに神道連国会議員懇談会幹事長・参議院議員有村治子氏よりご挨拶を賜った後に、各来賓の紹介となった。

引き続き、応援弁士として神道連国会議員懇談会幹事長兼会長代行・参議院議員中曾根弘文氏、同事務局長・衆議院議員稲田朋美氏、同幹事・参議院議員中川雅治氏御三方がご自身の政治活動の報告をしつつ、今夏に行われる第二十四回参議院議員通常選挙比例区候補予定者である神道連国会議員懇談会副幹事

長・参議院議員山谷えり子氏への絶大なる応援をお願いすべく弁舌を振るわれた。

そして、研修会講師として山谷参議院議員が登壇し、先の伊勢志摩サミットにおいて各国首脳が神宮を訪れ、我が国の伝統に触れられた旨、日本の神道は自然や祈りの心、そして平和が調和する日本の文化そのものであることを話されるとともに、参議院議員選挙に向けて家族政策の充実、教育再生、国なおし、拉致問題の解決、憲法改正、「戦後の宿題片付けます」をモットーに、本研修会にご参加の皆様を始めとして、神道政治連盟の皆様ともにこれからも歩んでいくと、熱く語られた。

研修会終了に際し、曾根原神道連埼玉県本部本部長より花束を贈り、神保神道連群馬県本部長より山谷参議院議員にタスキを掛けさせていただき、選挙必勝を期して当県渡邊本部長が先導を務める中、参会者全員で力強くガンパローコールを行い、結びに閉会の辞を提筆神道連栃木県本部長が延べ終了となった。

神社庁外郭団体新役員紹介

平成二十八年四月一日、
平成三十一年三月三十一日

山梨県神道青年会

会長 武田神社 遠藤 倫生
 副会長 菅本喜壽高社 竹埜 元木
 副会長 甲斐奈神社 高原 光啓
 監事 武田神社 佐野浩一郎
 監事 菅本喜壽高社 小澤 輝展
 教化部長 浅間神社 藤巻 普紀
 広報部長 菅本喜壽高社 高阪 雄次
 事業部長 富士山御嶽神社 小佐野正崇
 事務局長 若宮八幡神社 金子 雄紀

山梨県女子神職会

会長 比枝神社 津金八千代
 副会長 武田神社 網藏五十鈴
 會計 稲積神社 土肥 東宮
 事務局 御崎神社 上條 節子
 監事 逸見神社 篠原いさを
 監事 船形神社 平嶋 敏子

山梨県教育関係神職協議会

会長 古宮太神社 高野 英夫
 副会長 神明社 竹俣 忠洲
 事務局長 菅本喜壽高社 小佐野文男
 監事 浅間諏訪神社 郷田 盛直
 監事 菅田天神社 今沢寛万呂
 相談役 浅間神社 伊藤 裕久
 相談役 王法子神社 輿石 仁

山梨県氏子青年協議会

会長 稲積神社 長瀧 英規
 副会長 菅本喜壽高社 酒井 宏知

山梨県神職保護司会

会長 稲積神社 根津 泰昇
 副会長 武田八幡宮 内藤 佑介
 副会長 武田神社 佐々木高仁
 擧・擧長 宇波刀神社 石原 鎮
 擧・擧長 金山神社 金子 寿元
 擧・擧長 金山神社 金子 寿元
 監事 津金真由美
 相談役 王法子神社 輿石 仁
 名譽会長 若宮八幡神社 望月 久男

山梨県神道雅楽会

会長 穴切大神社 秋山 忠也
 副会長 金山神社 金子 寿元
 理事 武田神社 内藤 寛
 理事 牛倉神社 中村 宗彦
 理事 天神社 松田 公仁
 理事 稲積神社 篠原 康正

山梨県敬神婦人連合会

会長 武田神社 乙黒 夏恵
 副会長 住吉神社 神戸 鶏子
 副会長 稲積神社 丹澤起恵子
 副会長 八王子神社 中村 政代

神宮参与同評議員会・並に崇敬会代議員会報告

東八代支部
支部長 志村 重治

平成二十八年度の首題会議出席の為六月九日・十日の二日間、関連行事に出席しました。山梨からは神宮参与の根津神社庁長はじめ神宮評議員の中込県氏子総代会長他十七名の評議員が出席しました。

九日の早朝、仕立てのバスが県内各地を巡り、全員集車、伊勢に直行しました。

伊勢に入ると先ず、外宮、内宮と御垣内参拝を致しました。夕刻になり、午後六時から神宮大宮司の招きによる懇親会が神宮会館において営まれ、全国から会議に訪れた約五百名が一室に会し、鷹司大宮司の心温まるご挨拶を頂き、全国同朋との親睦を深めるよい機会となりました。

翌十日午前九時、内宮宇治橋前に全国よりの会議への参加者が集合し、内宮へ特別参拝と太々神楽の奉奏をし、神宮会館

へ移動。午前十一時主たる目的の神宮参与同評議員会、伊勢神宮崇敬会代議員会が神宮参与、評議員五二二名の出席の中盛会に開催されました。

主催者代表鷹司尚武神宮大宮司と、豊田章一郎伊勢神宮崇敬会会長が夫々挨拶され、功労者顕彰があり、北白川道久神社本庁統理、伊勢市長代理の藤本亨副市長から祝辞を頂きました。

夫々のご祝辞の中で五月二十六日に伊勢志摩サミットに各国首脳が内宮御垣内参拝された事に触れて、日本の精神文化を直に感じて頂き、神宮、神社への関心と、我国の固有精神文化に対する世界的関心の広がりに期待したい等述べられました。

協議に入り、①神宮の現況について ②伊勢崇敬会会務報告等が議事に呈され、神宮司庁の各部より、成果と反省等が述べられました。会議では特に神宮大麻減体に歯止めをかける対策の必要性を強く感じました。昼十二時十分閉会してバスにて、帰路につきました。

まんが古事記

くにうみ(第一話)



「全国神社保育団体連合会」提供

問い合わせ 東京都渋谷区代々木一―一―一

本社本庁内

電話 ○三―三三三九―八〇―一―一

一冊 一二〇円

このお話の神さま



伊邪那美命

伊邪那岐命

雷神

お子さん、お孫さんと、

神話の世界をお楽しみ下さい。

あらすじ

日本の国が誕生した頃、まだ国土は海の上をユラユラとただよっていました。それを見られた高天原の神さま方は、日本の国土をりつばなものにしようとして、伊邪那岐命・伊邪那美命の二人の神さまに天の沼矛という矛を授け、国造りをお命じにられました。

二人の神さまは早速、その矛で海水をかきまわし、一つの島を造ると、そこに天降って多くの島国、神さまたちを生み出した。しかし火の神を生むとき、伊邪那美命は大やけどをしてしまい、亡くなつてしまいました。悲しみにくれた伊邪那岐命は、伊邪那美命に会うために黄泉国へ向うのです。







(二七五号 第二話へ続く)

山梨県神道青年会報告

「神道青年全国協議会

神武天皇二千六百年記念事業
国家安寧祈願祭を奉仕して

会長 遠藤倫生



本年、檀原の地で建国の礎を築かれた神武天皇が崩御されてより、二千六百年を迎えます。その節目となる本年、神武天皇の聖徳を偲ぶと共に御事績を顕彰し、次代の安寧を願い去る平成二十八年六月八日午前十時三十分より、奈良県檀原市久米町鎮座、檀原神宮に於いて、「神武天皇二千六百年記念事業 国

家安寧祈願祭」を斎行しました。

当日は、前日の悪天候とは変わり天候にも恵まれ、檀原神宮宮司 久保田昌孝様を斎主に、一〇〇名を超える全国の青年神職が集い、厳粛に祭典が斎行されました。

国家の安寧を祈るとともに、神武天皇が建国された想いを護り伝えるべく、心を一つに祭典を奉仕いたしました。

来る紀元二千七百年が国民挙げての奉祝になるよう時流を作る事は、我々青年神職の役目でもあります。今ここに神武天皇の聖徳に改めて想いを致し、日本民族としての誇りを恢復し我が国の根幹を確固たるものに修り固めなすべく、祈りを捧げて参りました。

山梨県女子神職会報告

「祭式研修を終えて」

浅間神社

権禰宜 須田順子

女子神職会では、教養を培う事を目的に年二回の研修会を行っております。今回は祭式研修

を本県祭式講師桃井一祝先生をお迎えし、六月十五日に山梨県神社庁にて開催されました。

まず開講式が行われ修祓、大祓詞奏上、津金会長以下受講生にて神殿に開講の奉告を行いました。

引き続き研修に臨み、午前は基本作法のご指導を戴きました。普段何げなく行っています。普段何げなく行っています。知らず知らずの内に形が崩れてしまったり、立礼でのご奉仕が増え、座札での作法が少なくなってきたておられます。女性は男性とは違った動きがある事も含め礼の角度、扇の位置、間の取り方、進む歩幅、それぞれをきちんとする事により美しい姿で神様にまことを以ってご奉仕できる事を確認致しました。

午後から行われました「祝詞作文」の講義では、神様と参拝者の中取持である神職の最も重要な「祝詞」。目には見えないだけに言霊の力を大切にしながら、なくてはならないと感じました。

又、最近参拝者の方々には、神社検定も行われているように神社に関心を持っています。社頭

で質問をされた時、きちんと答えて差し上げられるよう、常に色々な知識を身に付けておく事が肝心であるとの話をお聞きしました。「大麻にはなぜ紙が使われているのか」「縄の細かい方の違い」私達はさりげなく使っています。私達はさりげなく使っています。私達はさりげなく使っています。私達はさりげなく使っています。

祭式作法は心の現れです。女性としての立ち振る舞いを社頭にお見えになった方々が、皆様のご加護を頂き日々の生活が営める事に感謝と祈りを捧げ今回の研修で学んだ事を初心に戻り見直し、社務に生かせるよう務めて参りたいと思います。



山梨県神職保護司会報告 「全国神職保護司会総会に 参加して」

小室浅間神社
宮司 宮下重範

第二十七回全国神職保護司会総会が、六月六日・七日に雄大な立山連峰の懷に抱かれた越中の國、富山県護国神社において、全国から六十名余の保護司として活躍されている神職が集い開催された。

本県からは、根津泰昇会長以下七名が参加した。

先ず護国神社の正式参拝を行い、一同心身の清浄と引締った気持ちを持って総会に臨んだ。

冒頭梅野守雄富山県神職保護司会会長から、十九年ぶり二回目となる本地において総会を開催することの意気込みを含め歓迎の挨拶を頂き、続いて、会長代理を務められた松橋暉男名誉会長から、嘗て保護司は黒子に徹することを求められたが、激動する社会状況や多様化する犯罪・対象者の変化の中で、保護司として表に出ることを余儀なくされる状況も屢々生じてい

る。非常に難しい場面もあり、神職・宗教家としての知識や経験の發揮が求められている。氣持を引締めて職務を遂行することを望むとの式辞が述べられた。

来賓の富山保護観察所長をはじめとする皆様方からの祝辞で、人間関係の希薄化が進むなかで、家族・地域社会の拠り所として更生保護の取組みは大変重要であり、安らぎと活力ある地域づくりのため引き続き尽力願う。また、高齢者や薬物事犯者の割合が多くなっており、そうした人達の再犯率が高くなっているという問題がある。関係機関と連携を深め、円滑な社会復帰を進め再犯を防ぐため、対象者と向き合い、宗教家として精神的な支えになれるような関わりが必要であること、などが強く語られた。

議事に入り、平成二十七年年度の事業報告と決算、二十八年度の事業計画と予算など順調に承認・決議された後、役員の変更がなされた。

今般の改選は、役員任期半ばではあるが宮川憲一会長の辞任に伴うもので、会長・副会長の補充選任となったものであ

る。福田 勉氏が新たに選任された。

最後に、来年の総会を長崎県において実施することを決めたこととなった。

総会に引続いて、富山県に多く存する御製碑のうち、今年三月に竣工したばかりの「深海の水も育てしひらめの稚魚 人らと放つ富山の海に」の御歌を奉拝し、梅野会長から富山県民の御製碑に対する想いの深さが熱く語られたところである。

続いて、天平十八年に大伴家持が越中国司として赴任した際に興したという放生津八幡宮に正式参拝を行った。

夜の懇親会に際し、ご本人も保護司を務めている歌手、五島つばきさんによる、幸福の黄色い羽根を連想させる題名で、まさに保護司会の歌とも言える「ひまわりの譜(うた)」が熱唱され、更生保護ネットワークのシンボル標語の「人はみな生かされて生きてゆく」が取込まれているフレーズを全員で唄い感概を共にしたところである。

翌二日目の、重要文化財勝興寺の拝観では、平成十年度から二十二年をかけて実施されてい

る修理事業の状況を目近に見て、木造建築の美しさと職人の技に改めて感銘を受けたところである。

この外、三日目の一之瀬神社の参拝、五箇山合掌造り集落、高山の散策など、充実した総会参加となった。

山梨県神道雅楽会報告 「雅楽会研修旅行に参加して」

理事 松田 公仁

この研修旅行は毎年あり、日頃よりお世話になっております、元宮内庁楽部長の上明彦先生と親睦を深め、その土地の歴史・風土を学ぶに為に行われ、今回山口・島根の神社やお寺を中心に巡り学んで来ました。

最初に下関市にある赤間神宮に参拝しました。御祭神は一八五五年源平壇ノ浦合戦に入水された安徳天皇をお祀りしています。水野宮司様より直接に安徳天皇のお話や、ここに祀られている耳なし芳一や平家一門の武将のお話を頂きました。

萩は昨年『明治日本の産業革命遺産』として、世界遺産に登録されました。吉田松陰の松下

村塾もその一つである松陰神社に参拝しました。この神社には吉田松陰だけでなく、末社の松門神社には幕末の志士達も祀りされています。幕末の志士達がここに集い学び、明治維新を遂げる原動力となった地です。地理的には主要都市から離れていますが、地方でも志を持って国を愛する力になると学びました。

また外に五重の塔で有名な瑠璃光寺、島根津和野では城主の菩提寺の永明寺など巡りました。今回萩・津和野では現地のボランティアガイドの方を頼みました。郷土愛に満ちたお話で、親切・丁寧の説明頂き有り難く思いました。

今雅楽会では八月六日に行われる神社庁七十周年記念事業に向け日々稽古に励んでいます。今回は蘭陵王を上明彦先生より直接教わり、皆も気合が入っています。大勢の方々に見て頂き、雅楽を通じて神社により多く関心を持つて頂けたらと思います。

山梨県氏子青年協議会報告

会長 長 湯 英 規

去る、平成二十八年五月十四

日、北口本宮富士浅間神社社務所に於いて、「平成二十八年度山梨県氏子青年協議会定例総会」が、山梨県神社庁長様をはじめ三名の来賓の方々のご臨席戴く中で、当会構成単位会である「北口本宮富士浅間神社氏子青年会」「稲積神社崇敬青年会」の会員多数参加のもと行われました。議事では平成二十七年年度会務、会計報告、平成二十八年年度事業報告案、予算案の承認、役員改選委嘱の承認等慎重審議の上滞りなく納める事が出来ましたことをご報告致します。

また、今年開催される山梨県神社庁設立七十周年記念事業への協力、会員単位会増強、平成三十年に開催内定の「氏青関東地区連絡協議会研修」の山梨県大会に一致団結して取組む事を確認したところであります。

その後、各単位会の交流を深める為懇親の席を設けて、来賓の方々を交え親睦の和を深める事が出来ました。

今後は、当会所属の単位会が更に結束を深め、役員並びに会員一丸となって神道興隆にむけ励精致す所存でございますので、神職、総代各位の温かいご支援、

ご協力をお願い申し上げます。ご協力をお願いします。

山梨県敬神婦人連合会報告

会長 乙 黒 夏 恵

二十七年七月神社庁に於いて午前役員会、午後総会を開催致しました。前年度の会計事業、監査の報告、続いて予算案及び事業計画案が審議され可決されました。

その後、秦まゆな先生の記念講演「日本人と神社」を聴講致しました。十月には第六十六回敬神婦人会全国大会が青森にて開催二泊三日の日程で会長他二十八名が参加、東北津軽の風土と三味線の音色を肌で感じ思い出に残る大会となりました。

十二月一の宮浅間神社御鎮座一五〇年記念大祭、一月神社庁神殿例祭、三月には山梨県神道青年会創立六十五周年大会等に出席致しました。

敬神婦人会は全国単位数九八六の内わが山梨は八単位、会員数約八万人の内二百人というのが現状です。

社会環境の変化、高齢化に伴い会員数が減少し世代交代と会

の活性化が望まれます。広い世代の加入が当面の目標であり又国旗掲揚の活動を推し進めると共に小旗の作製も活動の一環として行いたいと思っております。

山梨県教育関係神職協議会

平成二十八年度

「第十六回神社関係者囲碁大会」
日時 平成二十八年八月四日(木) 午前九時

会場 山梨県神社庁

参加資格

一般の部

神職・総代・氏子崇敬者 (二チーム三名)

青少年の部

小中学生

参加費

一般の部 一団体 五、〇〇〇円

青少年の部 無料

申込期日

七月二十日(水)まで

申込先 山梨県神社庁

※問い合わせ先

高野 英夫

〇五五三一四四―二二五〇

小佐野文男

〇八〇―五四一〇―二三三〇三

支部だより

甲府支部

諏訪大社御柱祭拝観旅行に参加して

武田神社権禰宜

関 宣 隆



寅年と申年の七年ごとに行われる諏訪大社の御柱祭に、五月十六日十七日の一泊二日の日程で六十八名にて、行って参りました。

本年は申年、上社本宮前宮の里曳きは、既に五月三日から五日にかけて行われ、私たちの拝観参加したのは、下社春宮秋宮

の里曳きで、五月十四日から十六日にかけて行われた、その最終日の秋宮のものでした。

当日は、午前十時三十分、下諏訪駅近くの下諏訪総合文化センターにてバスを降車し、里曳きを行っている大社通りまで移動、街道沿いに、まさに、氏子衆が木遣り音頭にしたがつて、全長十七メートル、直径一メートル、重量十トン強の麗しく装飾された御柱を秋宮に曳き入れる様子を拝見、或いは、氏子衆に促されて、実際に引き綱を持って参加することの出来た者もおりました。

予定では十一時過ぎには、秋宮境内にて、建御柱の神事が始まる時期になると聞いていたため、早速、境内に入り、建御柱祭場間近にて、皆、様子を見守っておりましたが、柱を建てる際に引き上げるための滑車の付いた添え柱がたつたのみにて、先ほどの市中にあった御柱が境内に宮入しないうちは、建御柱の神事に移らない由を聞き、ここで二手に分かれ、一方は、引き続き御柱の到着を待つて、建柱神事を拝観する者と、いま一方は、春宮に参拝に行く者とは別れました。

を整える『冠落し』を、古式に則って執り行った上、御柱を順次、建てて行きました。この間も、その都度、朗々とした木遣り歌とこれに応じて「よいさ、よいさ」の氏子衆の声ごえが響く中、御柱が無事に建ち上がりました。

春宮に参った一団は、参拝の後、真新しく建った御柱や、木落しの坂を拝観し、また、万治の石仏を見るべく、裏手に回り込むと、折しも、建御柱の神事後、氏子衆が御柱の最後の化粧を施している姿を望むことが出来た。退出の後、下諏訪駅前特設の「おもてなし交流パーク」において大型ビジョンにて秋宮の建御柱祭の実況映像を拝見することとなりました。

改めて、下諏訪総合文化センターにて合流しバスに乘車した一行は、松本市内北方の美須々の旧陸軍歩兵第五十聯隊横地に鎮座する長野縣護國神社を正式参拝し、美ヶ原温泉にて、旅の荷を解きました。

翌日は、夜半よりの雨が残る中、松本市内の開智学校と松本城・市立博物館を見学。追加の信州三年味噌の蔵の見学の頃は雨も止み、昼食の後、安曇野市の大王わさび農場の山葵田の見学を終え、帰甲の途に着きました。

支部総会報告

峡南支部総代会総会

日時 五月八日(日) 午後一時

場所 中富区公民館西嶋分館

東八代支部総会

日時 五月二十一日(土) 午後二時

場所 浅間神社

峡北支部総代会通常総会

日時 五月二十三日(月) 午後三時

場所 魚光会館

峡中支部総会

日時 六月二十二日(水) 午前十時

場所 櫛形生涯学習センター

各総会には根津庁長、中込総代会長が出席しました

今後開催予定の支部総会

甲府支部神職総代会合同総会

日時 七月二十日(水) 午後一時

場所 ベルクラシック甲府

北都留支部総代会総会

日時 七月二十七日(水) 午後二時

場所 大月市民会館

東山梨支部総会

日時 八月下旬(予定)

場所 山梨市牧丘町総合会館

南都留神社関係者大会

日時 十一月二日(水)

場所 ハイランドリゾートホテル&スパ

祭典日程

7・28	河口浅間神社太々御神楽祭	9・15	祭 玉諸神社秋葉祭 甲府市飯田八幡神社秋季例大祭 富士吉田市上暮地神明社例大祭 忍野村内野浅間神社八幡社例祭	10・10	穴山町諏訪神社秋の例大祭 身延町西嶋若宮八幡神社例大祭
7・30	韮崎市若宮八幡宮例祭(三十一日)	9・18	下吉田小室浅間神社例祭・流鏝馬祭り(十九日) 都留市田野倉三嶋神社例祭 船津筒口神社例大祭(神幸ノ儀) 船津八王子神社例大祭(神幸ノ儀)	10・11	熊野神社例大祭 塩山竹森玉諸神社例祭 穴切大神社秋季例大祭(宵宮) 酒折宮例大祭(宵宮) 石和町比枝神社秋季例祭 上於萱草田天神社例大祭 下部熊野大神社秋季例大祭 南アルプス市笠屋神社秋季例大祭
7・31	柴宮神社みぎ祭 甲府市千塚八幡神社禊祭(八月一日) 北杜市長坂町建岡神社夏越祭	9・19	浅間神社末社諏訪神社例祭・秋季大祭(二十日)	10・14	酒折宮例大祭 穴切大神社秋季例大祭(宵宮) 酒折宮例大祭(宵宮) 石和町比枝神社秋季例祭 上於萱草田天神社例大祭 下部熊野大神社秋季例大祭 南アルプス市笠屋神社秋季例大祭
8・8	忍草浅間神社忍野八海祭	9・21	山縣神社前夜祭	10・16	穴切大神社秋季例大祭 酒折宮例大祭 山梨市大工天神社例祭 市川三郷町宮原浅間神社秋祭(神楽祭) 市川三郷町城山神社秋祭 甲斐市富竹新田神明社例祭 甲斐市長塚神社秋季例大祭 南アルプス市上今諏訪諏訪神社例大祭 南アルプス市百々諏訪神社秋季例祭 柴宮神社秋季例祭 甲府市千塚八幡神社例祭・慰霊祭 甲斐一宮浅間神社秋季大祭 両之木八幡宮秋季例祭 韮崎市大草町南宮大神社秋祭 富士吉田市諏訪内山神社例大祭 船津筒口神社参籠祭 船津八王子神社参籠祭 新屋山神社秋季例大祭(連神社)
8・13	七保町瀬戸春日神社例大祭	9・22	山縣神社例大祭・大式学問祭 一宮町橋立甲斐奈神社秋季例大祭 大明見小室浅間神社護国神社招魂祭(戦没者慰霊祭) 大月市駒橋三嶋神社秋季例大祭	10・17	百々諏訪神社秋季例祭 柴宮神社秋季例祭 甲府市千塚八幡神社例祭・慰霊祭 甲斐一宮浅間神社秋季大祭 両之木八幡宮秋季例祭 韮崎市大草町南宮大神社秋祭 富士吉田市諏訪内山神社例大祭 船津筒口神社参籠祭 船津八王子神社参籠祭 新屋山神社秋季例大祭(連神社)
8・15	山梨縣護国神社戦没者追悼式 大月市畑倉春日神社例大祭	9・23	北杜市日州町若宮八幡神社例大祭	10・19	桐原軍刀利神社秋祭 忍野村内野浅間神社天狗社例祭 富士河口湖町白山神社秋葉祭
8・17	富士山小御嶽神社例祭	9・25	北杜市高根町熱那神社秋季例祭 山		
8・19	上野原市諏訪神社例祭	9・26	北杜市高根町熱那神社秋季例祭 山		
8・20	石和八幡宮撰社祭(二十日祭)	8・21	南アルプス市飯野若宮神社灯籠祭		
8・21	南アルプス市飯野若宮神社灯籠祭	8・22	中央市布施八幡櫻見神社夏祭り		
8・26	北口本富富士浅間神社鎮火祭(二十七日)	8・28	富士河口湖町白山神社例大祭 上野原市鼓築神社例祭		
9・1	都留市四日市場生虫神社八朔祭	9・3	上野原市牛倉神社例大祭(五日)		
9・3	大月市鳥沢福地八幡神社例大祭	9・4	大月市猿橋町三嶋神社例大祭		
9・7	上野原市惣祖神社秋例祭	9・9	勝山富士御室浅間神社秋季例大祭(神輿祭)		
9・10	大月市初狩町八幡神社秋季例大祭	9・11	甲府市宮前八幡神社例大祭 大月市花咲稲村神社秋祭 大月市浅利神田神社秋祭 大月市諏訪春日神社秋例		
10・9	身延町一宮賀茂神社例大祭 身延町穴山町御名方神社秋季例祭	10・8	八代町北南北八代熊野神社秋季例祭(九日) 韮崎市穴山町穂見神社秋季例祭		
10・5	山梨縣護国神社秋季例大祭	10・2	北杜市高根町長沢船形神社秋季例祭		
10・3	甲州市勝沼町雀宮神社例大祭 北杜市小淵沢北野天神社例大祭	10・1	朝気熊野神社例大祭(二日)		
10・1	北杜市高根町熱那神社秋季例祭	10・1	北杜市高根町熱那神社秋季例祭		
10・1	北杜市高根町熱那神社秋季例祭	10・1	北杜市高根町熱那神社秋季例祭		

今後の予定

日	時	平成二十八年九月二十七日(火)	【全国神社総代会大会研修旅行】 二十八日(水)
会場	秋田県民会館		
参加費	八〇、〇〇〇円程度を予定		
日	時	平成二十八年九月五日(月)	【全国敬婦人大会参加旅行】 七日(水)
場所	兵庫県(大会会場神戸ポートピアホテル)「ポートピアホテル」		
参加費	九七、〇〇〇円		
日	時	平成二十八年九月十二日(月)	【山梨県神社庁顧問参与会】
場所	ホテル談露館		午後三時
日	時	平成二十八年九月二十三日(金)	【神宮大麻暦頒布始祭】
場所	山梨県神社庁 神殿		午後三時
日	時	平成二十八年十月二十六日(水)	【山梨県神社関係者大会】
場所	山梨県神社庁 神殿		午後一時
内容	第一部 コラニー文化ホール 大ホール 第二部 物故者慰霊祭 式典		
日	時	平成二十八年十一月十六日(水)	【新穀感謝祭】 十七日(木)
場所	宿泊ホテル、行程、参加費は支部によって異なります、支部役員・神社宮司にお尋ね下さい。		

夜店やステージなど
楽しいイベント盛りだくさん!

入場
無料

神楽や雅楽など
日本の伝統文化に触れよう。

山梨県神社庁設立七十周年記念事業

神社を知ろう

平成二十八年八月六日(土)・七日(日)

会場 甲府駅北口よっちゃばれ広場

神楽舞・舞楽

神楽舞：浦安の舞・豊栄の舞
舞楽：園殿王

雅楽

平安時代から伝わる古典芸術
で、大規模な合奏形態で演奏
される世界最古の伝統音楽。

会場案内図



神社を知ろう タイムテーブル

8月6日(土)

時間	特設ステージ	神社ブース	露店広場
12			
13			
14			
15			
16	● 開会セレモニー		
17	● 甲府囃子		
18	● よさこい		
19			
20			
21			

8月7日(日)

時間	特設ステージ	神社ブース	露店広場
10			
11	● 緑陰子供会		
12	● 子供神楽舞		
13	● FUJI SAKURA 盆 ● 重鼓		
14	● バンド演奏		
15	● FUJI SAKURA 盆		
16	● 甲府囃子		
17	● 西崎神楽		
18	● 餅まき		
19	● 開会セレモニー		

神社ブース
神楽ブース、おみくじブース、国旗ブース、神宮崇敬会、岩戸屋(お土産)、神社新報、焼きそば・串焼き・ハンバーグ等の食事やビール等の飲み物、
神主体験ブース、巫女体験ブース、お祭緑日ブース(綿菓子、ポップコーン、かき氷)

露店広場
焼きそば・串焼き・ハンバーグ等の食事やビール等の飲み物、
クレープ・スイーツなどの軽食、おもちゃ等、全15店舗出店

お問い合わせ 山梨県神社庁 山梨県甲府市岩窪町372 電話055-288-0003 <http://www.yamanashi-jinjacho.or.jp>